

杭打ち（基礎工事）開始

7月から10月にかけて実施してました地盤対策の工事が予定どおり終了し、いよいよ本体建設工事に着工します。まずは建物の土台となる杭打ちを行います。長さ11m程度の杭を11月末頃まで1日50本程度、全部で約900本もの杭打ちを行います。雨や雪の日、気温の低い朝から夜暗くなるまで工事施工者のみなさま、大変ありがとうございます。

①まずは重機で整地します。



②きれいに土地が整えられ、杭打ちの開始です。



③杭の写真です。この杭を約900本、土の中に打ち込みます。設計管理者によると、大地震がきても大丈夫とのこと。



④杭打ちの重機です。まずはドリル状の部分で掘削し、そこに③の杭を打ち込んでいきます。



⑤少し遠めからの様子です。



⑥杭が確実に打ち込まれていることを確認する写真を撮影する工事施工者の方です。一つの杭に3枚の写真、900本なので全部で2700枚ほどの撮影、大変ご苦労さまです。



⑦杭打ち開始の翌日に雪が降りました。



⑧ここに仮設の現場事務所があります。中はこんな感じで快適な空間です。写真は工事関係者が集まり工事の打ち合わせ会議を行っている様子です。

